

第 9 章

システムモニター

この章の主題

この章では産業用コンピューターのシステムモニターの機能について説明します。

この章について

この章には次の項目が含まれています。

項目	ページ
システムモニターインターフェイス	104
システムモニターの使用	108
Remote Monitoring の使用	111
Notification Center の使用	114

システムモニターインターフェイス

概要

システムモニターインターフェイスは、リモートモニタリングを提供し、この機能を使用して、単一のコンソールから複数のクライアントにアクセスして、リモートデバイスを管理できます。システムモニターは、装置をただちに検知し、リアルタイムの装置メンテナンスを提供し、システムの安定性と信頼性が向上します。

Remote Monitoring は、リモートデバイスのシステムステータスを監視します。監視する項目としては、ハードディスクの温度、ハードドライブの健全性、ネットワーク接続、システム /CPU 温度、およびシステム電圧があります。

また、機能ログもサポートするため、管理者はリモートデバイスの状況を定期的に把握することができます。

しきい値を超えたときにシステムモニターからメッセージを表示できます。

システムモニター条件

オペレーティングシステム条件：

オペレーティングシステム
Windows Embedded Standard 7 (WES7P) SP1 64 bits MUI
Windows 7 Ultimate SP1 64 bits MUI
Windows Embedded 8.1 Industry 64 bits MUI

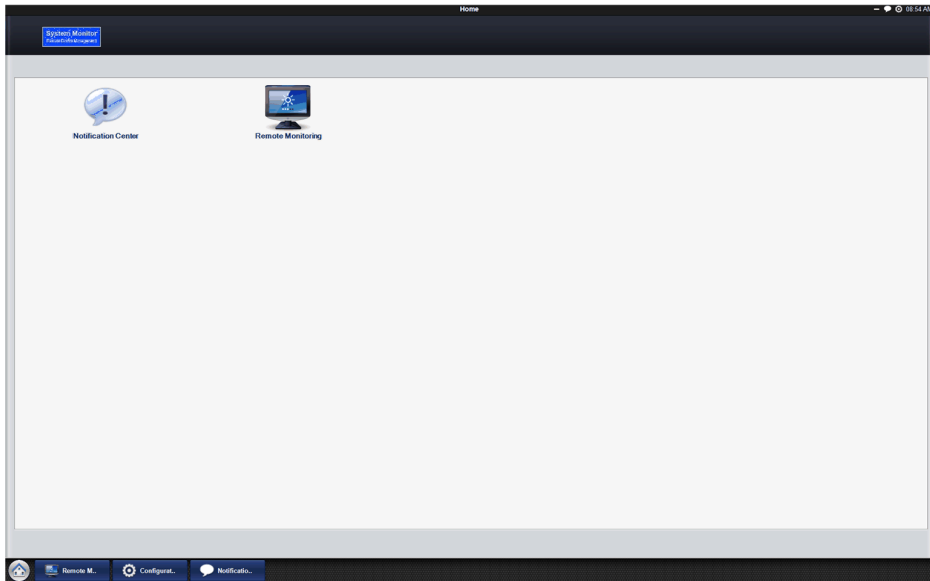
ソフトウェア条件：

説明	ソフトウェア
フレームワーク	Microsoft.NET Framework バージョン 2.0 以上
ドライバー	Pro-face Software API

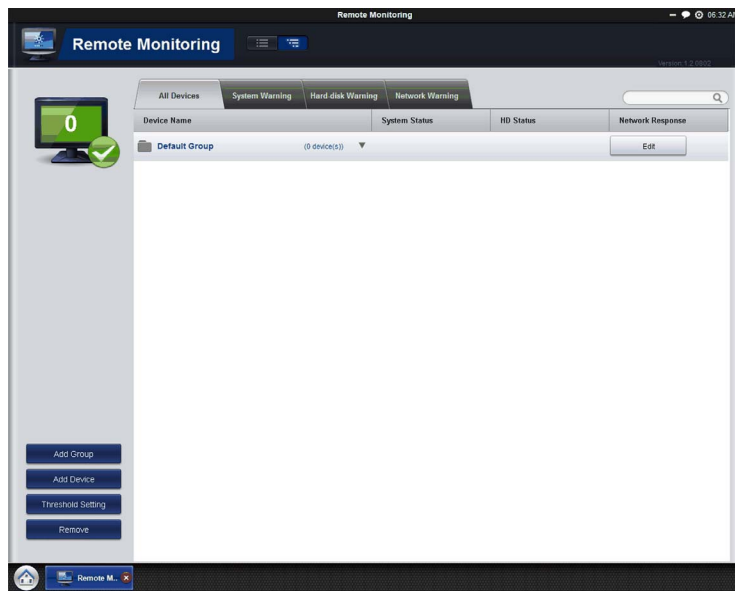
システムモニターコンソール

システムモニターコンソールは、クライアントに対するサーバーとして動作します。システムモニターコンソール上に表示されるデバイスには、システムモニタークライアントからの健全性およびステータス情報が表示されます。コンソールは、ネットワーク上のクライアントにより利用可能にする必要があります。

システムモニターコンソールを起動するには、**Windows のスタートメニュー**→**すべてのプログラム**→**Pro-face**→**System Monitor** をクリックします。

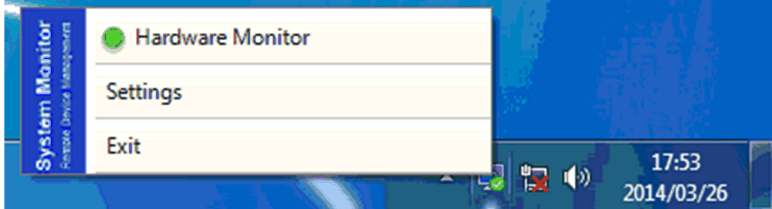


Remote Monitoring アプリケーションをクリックします。



システムモニターエージェント

この手順では、システムモニタースタンドアロンエージェントの一般的なユーザーインターフェイスについて説明します。

	説明
1	<p>システムモニタースタンドアロンエージェントは、システムが起動すると自動的に起動します。新しいサーバーの IP アドレスを入力するには、System Monitor Agent を開いてツールバーのアイコンをクリックしてください。</p> 
2	<p>パスワードを入力します。</p> 
3	<p>サーバー IP アドレスを入力します。サーバーとは、システムモニターコンソールが稼働している装置です。装置に名前を付けておくと、複数のクライアントが存在する構成で該当する装置を見分けることができます。</p> 

説明	
4	<p>Save & Connect をクリックして、エージェントをシステムモニターコンソールサーバーに接続します。</p> 
5	<p>ハードウェアモニターを表示するには、System Monitor Agent を開いてツールバーのアイコンをクリックします。</p> 

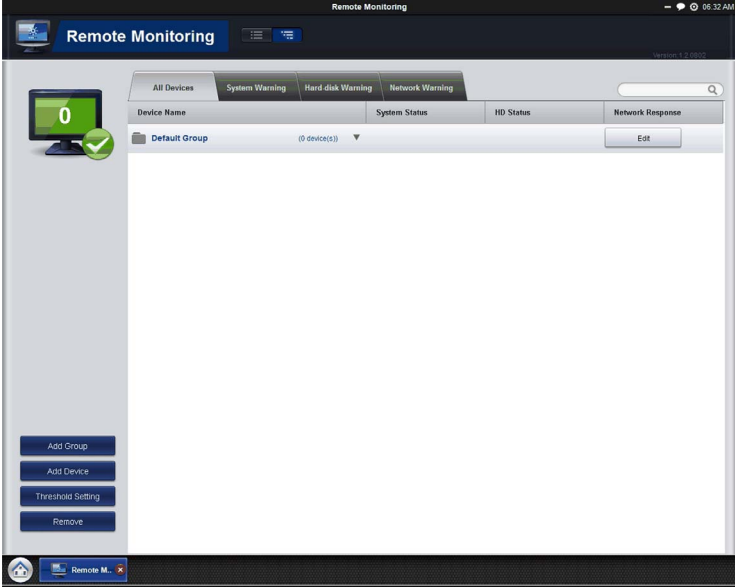
システムモニターの使用

概要

システムモニターは、リモートデバイスを管理するためのものです。

システムモニターの使用

この手順では、システムモニターの一般的なユーザーインターフェイスについて説明します。

説明	
1	<p>検索バー: デバイスをデバイス名で検索できます。リストに結果がすぐ表示されます。</p>  <p>Hierarchical または Flat Viewing Mode: アプリケーション名の右にあるボタンをクリックすると、階層表示モードとフラット表示モードを切り替えられます。階層モードでは、デバイスを複数のグループに分類して簡単に管理することができます。フラット表示モードでは、すべてのデバイスが同じページに表示され、すべてのデバイスの概要が参照できます。</p>
2	<p>Group Tab: 情報または機能に従って、複数のタブに分類されます。タブには、現在使用しているデバイスの数も表示されます。</p>
3	<p>Sorting: 列の見出しをクリックすると、すべての重要情報を並べ替えられます。デフォルトでは、デバイス名順に表示されています。</p>
4	<p>Device item: すべてのデバイスアイテムが表示されます。</p>
5	<p>Status count: ユーザーが留意する値が表示されます。</p>
6	<p>Extended function: ユーザーごと、リモートアプリケーションごとにカスタマイズされた機能があります。</p>

	説明
7	<p>デバイスの削除：デバイスが一定期間オフラインで表示する必要がなくなった場合は、Remove Device ボタンをクリックして削除できます。</p> <p>注記：デバイスがオンラインになると、再度表示されます。</p> 

設定

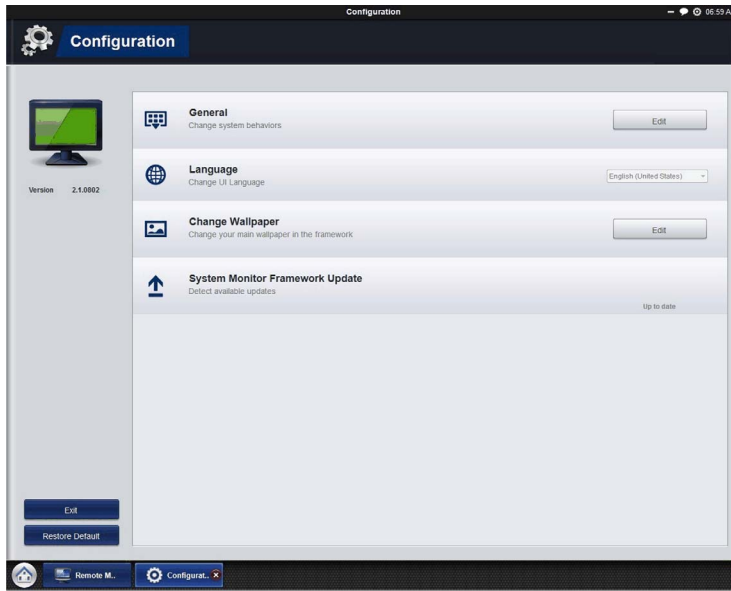
自動起動、言語の選択、壁紙やアップデートなどを設定できます。

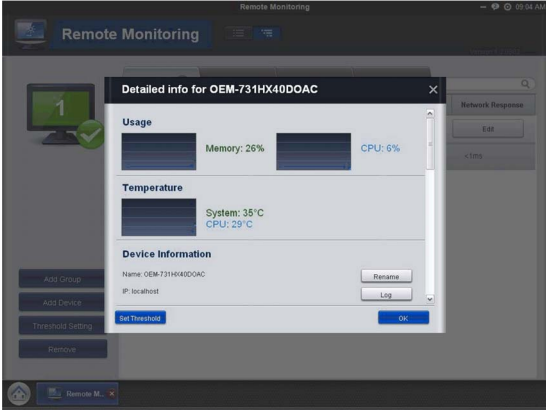
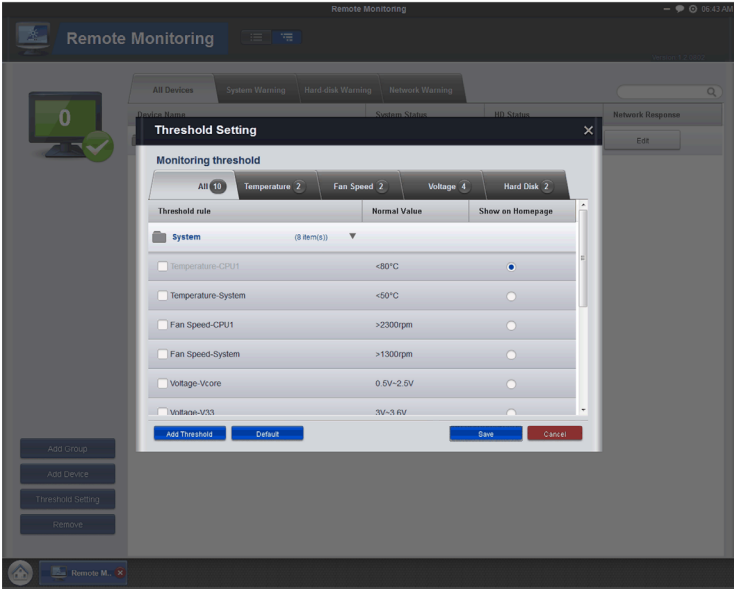
General (システム動作の変更): **Edit** をクリックすると、システムモニターをシステムトレイに表示し、OS が起動した際にシステムトレイに自動表示されるよう設定できます。

Language (ユーザーインターフェイス言語の変更)

Change Wallpaper (フレームワークのメイン壁紙の変更): **Edit** をクリックすると、メイン画面のユーザー専用壁紙を選択できます。

System Monitor Console Framework4 Update (使用可能なアップデートの検知): コンソールがインターネットに接続したときにサーバー上に新しいアップデートがあることを検知すると、**Update** アイコンが有効化され、オンラインでアップデートできます。アップデートが完了すると、このデバイスを再起動するよう指示される場合があります。




	説明
<p>2</p>	<p>Detailed device status: 以下の項目を含む詳細情報を表示するには、デバイスをクリックします。CPU/メモリーの使用率、システム温度、CPU温度、デバイスのMACアドレス、マザーボードモデル、BIOSバージョン、プロセッサモデル、メモリー容量、OSのバージョン、システムステータス、ストレージステータス、ネットワークステータス。</p> 
<p>3</p>	<p>モニタリングしきい値の設定 Setting ウィンドウを使用して、以下の4つの項目を含むしきい値のモニタリングが可能です。Temperature、Fan Speed、Voltage、Hard Disk。また、管理者はこのページから項目を増減できます。</p> 

説明	
4	<p>レポートスケジュールの設定</p> <p>このページの主な機能は、スケジュールとランタイムのレポートステータスを設定することです。機能は、Set Report Schedule ウィンドウで設定した情報によって異なります。スケジュールと繰り返し機能を使用する場合は、以下の手順を実行してください: Schedule Report ボタンをクリックして、繰り返しモード、時刻、メール送信リストの送信先を設定し、OK ボタンを押します。</p> 

Notification Center の使用

Notification Center による監視

Notification Center アプリケーションでは、エラー、警告、通知のメッセージを管理します。この手順では、Notification Center アプリケーションの使用方法について説明します：

説明	
1	<p>Notification Center アイコンをクリックするとアプリケーションを実行できます。メインアプリケーション画面。</p>  <p>All: 直近 500 件のログが 5 ページにわたって表示されます。検索バーを使用して、直近 500 件のイベントログを検索できます。 Setting: Advanced Notification Center の設定が表示されます。</p>
2	<p>Event Logs: Event Logs アイコンをクリックするとログを検索できます。 Search: ここでは、一定期間内のすべてのログをキーワードで検索できます。 Export: 検索結果のログをエクスポートできます。</p>